



TAKEFU WEEKLY



創 立/1954 年 (昭和 29 年) 6 月 30 日
 事務局/〒915-8522 越前市塚町 101 武生商工会館内
 TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail:takefur@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
 会 長/河嶋 一 幹 事/柿谷 好彦
 会報委員長/上野 巖

第 3241 回 例 会 記 録 令 和 5 年 2 月 14 日 (火)

本日出席会員 32 名

メイクアップ(前々回) 4 名

出席率(前々回補正) 73.47%

ロータリーソング「我らの生業」

 会員総数
49名

会長挨拶 第 69 代会長 河嶋 一



まず、西野会員
 県政功労
 者受賞お
 めでとう
 ございま
 す。

そして
 田中大成

会員「省エネ大賞」中小企業庁長官賞おめでとう
 ございます。
 職業奉仕を実践されている素晴らしい会員が、当
 クラブに在籍していることを誇らしく思います。私
 も負けずに頑張りたいと思います。

先週、炉辺会合に参加しました。その中で、会員
 歴の長い方々から 40 周年に日野川の河川敷に櫻の
 植樹の話が出ました。今から約 30 年前の事業です
 が思い出として残っているみたいです。

来年 70 周年を迎える当クラブも、思い出となる事
 業を宮本エレクトには、頑張っていたかと思
 います。

本日のプログラムは谷尾会員の卓話です。皆さん
 ご存じだとは思いますが、谷尾会員のお父様は、ロ
 ーターリーの会員として誇りを持っていらした方です。

私自身、公私ともに大変お世話になりました。話
 はいつもロータリーの事でした。本当にロータリー
 が好きだった方です。会社の社長室にも、4 つのテ
 ストが額に入れて飾られていました。そんなお父様

に鍛えられた谷尾会員の卓話期待しております。

プログラム

新入会員卓話

「谷尾榮一と私」

谷尾準一会員



本年度下期 1 月か
 ら谷尾榮一に替わり
 入会させていただきました
 谷尾準一でござ
 います。わたしな
 りに準備してまい
 りますが、わたくし
 の

ような若輩が、素晴らしいご経験をお持ちの大先輩
 たちの前で、お話しするのは緊張します。聞きづら
 い点あるかもしれませんが、一所懸命お話しします
 ので、ご容赦ください。

また、谷尾家の血は争えず、義父谷尾榮一と同じ
 で、わたくしも「とにかく話したすと長い」と友人
 からよく言われます。

さて、河嶋会長から「新入会員卓話」の宿題をい
 ただきまして、何についてお話しすれば良いか非常
 に悩みました。たどり着いたのは、やはりこうやっ
 て歴史ある武生ロータリークラブに、ご縁あって入
 会させていただきましたのは、義父であり、弊社の
 創業者社主である谷尾榮一が存在があったからであ
 るということです。

ついては、私の人となり、10 年前に、福井に
 帰ってきてから、義父とのいろいろなやりとりで、
 学んだことについてお話ししたいと思います。

まずは、谷尾家について少々お話しさせていただきます。
 谷尾家の初代は現池田町からの出で、紆余
 曲折の後、武生で繊維機織り兼卸会社を創業したと
 聞いています。繊維が盛隆であった頃には、海外に
 も輸出する等していたとのことです。

その後、有志たちと銀行の前身である金融会社
 「武生無尽会社」を創立し、住宅や建物を建築する
 資金を融資していました。

昭和 2 年 (1927 年)、東京海上保険会社 (現東京

海上日動火災保険株式会社) から損害保険取扱の委託を受け、火災保険の取り扱いを開始しました。

その後、私の曾祖父が亡くなった後、「武生無尽会社」は他無尽会社と合併し「若越無尽会社」となり、その後昭和 26 年の相互銀行法により福井相互銀行(現福邦銀行)へ転換されていきます。

ただし、損害保険の看板は谷尾家に残されており、祖父の谷尾藤助が個人で、保険業務を引き継ぎ、これを後に事業化し、タニオ保険株式会社を昭和 44 年に創業したのが谷尾榮一となります。

私の実父である谷尾清隆は谷尾榮一と五つ違いの弟となります。実父は 5 人兄弟の末っ子であり、その長男が私であります。私は一番下となります。谷尾榮一は子を授かりませんでした。

私は 18 歳まで福井市で過ごしました。その後、進学とともに福井を出て、社会人を含めて 18 年間、県外で過ごしました。入社した会社は損害保険会社で、4 度の転勤を経験しました。社会人 12 年目を迎えたころ、叔父(谷尾榮一)から声がかかり、2012 年 3 月に悩んだ末に福井へ戻る決意をしました。同年 6 月末で退職し、同年 12 月にタニオ保険に入社しました。また同年、谷尾榮一と養子縁組し、子となりました。

ここからの約 5 年間は壮絶でした。ほぼ毎日ことあるごとに携帯が鳴り、呼び出され、現状の報告を求められる日々。谷尾家の歴史、タニオ保険の歴史、真理の話、職業奉仕の話、お客様定期訪問の話。最長は飯抜きで 8 時間という時もありました。

それに耐えかねた私は、毎回キツイ言葉遣いで言い返し、長い話を遮り、腰を上げ、言うことを聞かず、言い合いになることもしばしば。お互いにストレスのかかる日々であったことを思い出します。今では大変申し訳ないことをしたと猛省しています。

しかしながら、今振り返りますと、その苦悩の日々があったからこそ、生来、忍耐力のない私に多少の胆力がつき、多くの修羅場があったからこそ、トラブルに対処できる度量が備わり、緻密で細かく先を語る父の要望に日々応えることで、どんぶり勘定であった私に、多少の緻密さと少しは先を見通せる力が備わったと思います。

今の私を作ったのは、谷尾榮一だと言っても過言ではありません。

昨年春に体調を崩し、入退院を繰り返しましたが、

現在は施設でしっかりと守られながらゆっくと療養し日々を過ごしており、家族も安心しています。

さて、私は福井に帰ってからは、様々な経済団体や勉強会に積極的に参加させていただきました。大いなる学びをたくさんいただきました。

また、もともと、ビジネス書や啓発本は苦手だったのですが、多くの本を手に取りましたが、大きな影響を受けた本が 3 冊あります。

1 冊目は有名なスティーブ・コビー博士の「7 つの習慣」、2 冊目はジェームス・アレンさんの「原因と結果の法則」、3 冊目はボブ・バーグ他の「あたえる人があたえられる」という本です。

「7 つの習慣」はもう何十回と読み返し、「人間には、刺激と反応の間にはスペースがある」という言葉から反動的にならず穏やかでいることを心がけるようになり、同書の第二の習慣「終わりを思い描くことから始める」にある、ミッションステートメント(自分のルール)づくりを実際に行い、意識して活動しています。

私は、3 年前の 2020 年 4 月に会社の代表に就任し、社員に支えられながらなんとか引き継いだ会社を営んでいます。来月の年度末をもって、社長として最初に策定した中期計画「フォーカスと実行 2023」が完了し、次の計画をスタートする予定です。

父は武生ロータリークラブに 1981 年からお世話になり、連続出席していたと聞いています。また、社室には「4 つのテスト」が掲示されており、本心にロータリークラブメンバーであることを誇りに思い、常に職業奉仕を実践しようとしていた姿を見てきました。

折角のご縁で、入会させていただきましたので、しっかりと出席し、大いに学ばせていただきたいとします。これから何卒宜しくお願い致します。

ニコニコ箱・・・13,000 円 累計 797,500 円

・谷尾会員、卓話よろしくお願ひいたします。

【河嶋 一】【河合敏一】【三村昌之】【井上常宏】

【柿谷好彦】【桶谷三枝子】【渡辺岳史】【鷺田文枝】

・早退させていただきます。 【西野昌美】

・ちょっと 【三田村久光】【山口和弘】

・つたないですが、卓話させていただきます。よろしくお願ひいたします。 【谷尾準一】

本日(2月28日)の例会
炉辺会合発表
テーマ:社会奉仕とは?

3月7日
第一例会行事
会員卓話
小林幸一会員

3月14日
夜間例会/ゲスト卓話
奈良西 RC
下村由加里会員

3月21日
